



暑中お見舞申し上げます

病院長 多田 恵一

2019年4月30日平成天皇が御退位され、5月1日新天皇が御即位。年号も「令和」となりました。新しい時代の幕開けです。そして、上皇陛下が平成の時代について、「戦争のない平和な時代でした」と述べられた通り、「令和」も平和で穏やかな時代であってほしいものです。

思い起こせば、昨年の梅雨時は、九州、中国、近畿を中心に豪雨災害などが発生し、各地で甚大な被害と犠牲者が出了しました。今年の梅雨期間中も線状降水帯という豪雨被害が、とくに九州方面で多く発生しました。

中国地方の今年の梅雨入りは平年より19日も遅い6月26日で、7月25日広島地方気象台は中国地方が梅雨明けしたとみられると発表しましたが、昨年よりなんと16日遅い梅雨明けとなつたそうです。今年の夏も大過なく迎えられることを祈っています。

国内では、7月21日に参議院議員選挙がありましたが、投票率が過去2番目に低い48.80%と24年ぶりに50%を割り込みました。特に若者の国政への参加が愁眉の課題だと実感しました。

国際社会では、香港では中国本土への容疑者の移送を可能にする「逃亡犯条例」の完全撤回を求め、連日国民的大規模デモが行われています。また、6月28,29日に大阪で開催されたG20にはトランプ大統領、プーチン大統領、習近平主席など各国首脳が勢ぞろいし、板門店では唐突な実質第3回目の米朝首脳会談まで行われましたが、各国の思惑は必ずしも一致していないように見えました。

さて、医療介護の現場は既に大きく動いています。高度急性期病院での治療後の、回復期、慢性期段階での継続的治療を担保して差し上げ、地域包括ケアシステムの流れの中での「介護医療院」なども提供し、在宅復帰、施設入所、さらには在宅、施設での急変対応、介護疲れを癒すレスパイト入院機能など、我々に求められる機能役割はますます大きくなります。

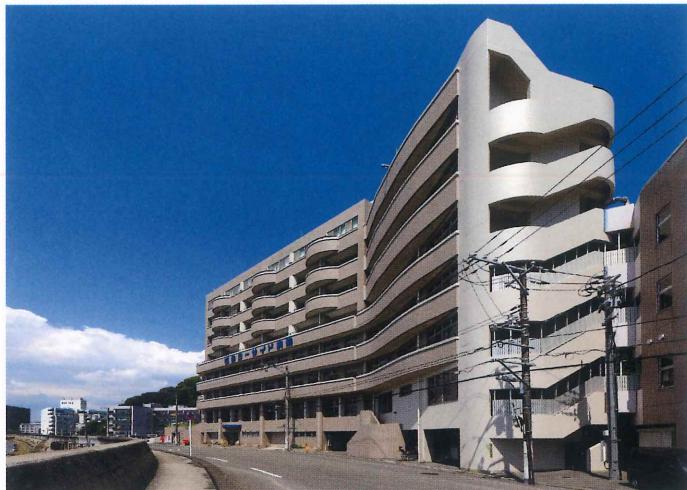
広島シーサイド病院の多職種にわたるスタッフ一同は、これらニーズを十分に理解し、患者様、ご家族のため、この地域で真心を込めた献身を一層前に進めたいと願っています。

関係各位におかれましては、暑い夏を大過なく守護されますとともに、今後とも、当院へのご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

広島シーサイド病院大規模修繕工事

昨年11月より9ヶ月に及んだ病院大規模修繕工事が7月を以って無事終了しました。当院は開設より30年以上経過しており、特に一番古くからある本館中央部分では至るところで劣化もみられましたが、この度の工事で外壁、屋上の防水、配管等の修繕をすることができました。サイン(看板)の更新も行い、外観も少し変わりました。今号表紙の写真は工事終了後、空撮した病院全景です。

工事期間中は、出入口や駐車場所・時間の制限、また道路を規制することもあり、入院患者、ご家族、病院関係者の方々、地域住民の皆さまにもご不便とご迷惑をおかけしました。ご協力ありがとうございました。



↑完成後写真



夜間ライトアップ時→



↑工事期間中写真

看護の日

5月22日、看護の日のイベントを開催しました。

今年はボランティア「ホビートーン」「フルール」をお招きしてトーンチャイムと歌のコンサートを開催しました。

トーンチャイムはハンドベルの一種でアルミ合金製のパイプをたたいて共鳴させる楽器です。グループの中の1人1人が音を担当して音楽を作り上げていきます。1人が3~4本のチャイムを担当し演奏します。曲目は「のばら」「白鳥」「赤いスイートピー」「あの素晴らしい愛をもう一度」「ふるさと」の5曲でした。そのやわらかく響く美しい音色には患者さま、ご家族、職員も聞き入って癒されたひと時でした。コーラスでは「知床旅情」「朧月夜」「鯉のぼり」「茶摘み」「夏は来ぬ」「ふるさと」の6曲を披露していただきました。どの曲も馴染みのある曲だったので懐かしく、演奏と合わせて歌を口ずさむ患者さまもたくさんおられました。

短い時間ではありましたが、患者さまの笑顔がとても印象的で、楽しんで頂けたと感じました。

「看護の日・看護週間」とは…

◆「看護の日」制定の趣旨

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。

◆5月12日の由来

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。1965年から、国際看護師協会(本部:ジュネーブ)は、この日を「国際看護師の日」に定めています。



コラム
「医療・介護の鳥瞰」
リハビリセンター長 松田 誠

引きこもり 100万人時代?

内閣府が今年まとめた調査で、40～64歳の引きこもりの人は61万3千人。15～39歳を対象とした2015年の調査を合わせると100万人を超えると発表されました。ここで言う引きこもりとは、仕事や学校に行けず家に籠り、家族以外とほとんど交流がない人の状況で6ヶ月以上続いた場合と定義されています。では、65歳以上の引きこもりの人達は、いったいどのくらいの人数がいるのでしょうか。確かに、年齢的にも仕事や学校には行かなくていいわけなので、上記のような状況の方がいても、ここでいう引きこもりの定義には適しません。ゆえに引きこもりではないとも言えます。しかし、実際に家族以外に交流が出来ない高齢者の方々は、多いのではないかでしょうか。もちろん寝たきりの方で、外出することがそもそも困難な方は除外しなくてはなりません。しかし、外出する能力があるにもかかわらず、家族と病気の為の通院や食料品の買い出し等必要最小限しか外出しない高齢者の方は多く、そのような、半引きこもりの高齢者は、私の肌感覚ではありますが多いと思われます。そうしてみると引きこもりは全年齢層に分布していることとなります。今後上記の15～64歳の方が介護保険適応年齢となり、何らかの理由で介護保険を利用しなくてはならないようになれば、今以上に大変になる可能性があり、早急に社会全体で解決する手段を見つけなければならないと思います。

そうした中、当院では半引きこもりの利用者の方に対しては、出来るだけ外出する機会を持たせ、他の人と交流する環境を作り、家に閉じ籠らせないようにしなくてはならないと考えています。そう考えると、介護保険で訪問系のサービスしか利用していない利用者の方・家族には注意が必要だと思います。その為当院では、訪問系のサービスを利用していただき、まずは訪問系のスタッフに慣れていただいて、信頼関係を作ります。そして外を歩くなどして外出する機会を持ち、しいては短時間通所リハビリテーションにつなげていきます。短時間通所リハビリテーションには、訪問リハビリで関わっている担当者が、まずその利用者の方と関わり、時間をかけて他の職員や他の利用者と交流する機会を作ります。つまり、初めは最小限の人がその利用者の方と関わり、時間をかけて他の人が関わっていく環境を作るわけです。その為にも同じ施設で訪問系、短時間通所リハビリテーションの両方のサービスを提供できる医療機関が必要と考えています。当院はそれを目標にして、地域の引きこもりの利用者の方に少しでも他の人の交流ができる施設になるようにしたいと思います。志は高く持つて地域に貢献したいと思います。



元宇品紹介① 曙橋

広島シーサイド病院がある元宇品の紹介をさせていただきます。今回は元宇品の玄関である曙橋です。橋といつても長さは5mほどで渡っても橋と気付かない人もいるかもしれません。元宇品は元来、宇品島と呼ばれる一つの島でした。1889年の宇品新開(現・宇品地区)造成と宇品港(現・広島港)築港により、広島本土と宇品島(現在の元宇品)は陸続きとなりました。その時点では宇品新開と宇品島は両地の間に水路は設けられず道路で結ばれた状態でしたが、1893年に単アーチ橋(めがね橋)が建造、第二次世界大戦中の1942年に、船舶往来の必要から陸軍船舶司令部がめがね橋を取り壊し水路を拡張し、新たに橋をかけ現在の「曙橋」の名称が付けられました。原子爆弾投下の際の被害はありませんでしたが、その後、戦後になって橋梁が改築され、現在に至っています。文部省唱歌「みなと」はこの橋から広島港を見てつくられたものだそうです。

みなと(作詞 旗野十一郎/作曲 吉田信太)

空も港も夜ははれて (そらも みなとも よははれて)
月に数ます船のかげ (つきに かずます ふねのかげ)
端艇の通いにぎやかに (はしけの かよいに ぎやかに)
寄せくる波も黄金なり (よせくる なみも こがねなり)

「転倒」のはなし～その2

前回、バランス感覚・機能低下についてお話ししました。今回は、転んで骨を折らないための予防についてお話ししましょう。もしお年寄りが足を骨折したら、寝たきりのきっかけになってしまいますことがあります。中でも大腿骨頸部骨折(足の付け根の骨折)が多いのですが、松葉杖での歩行も困難になり、人工関節への置換手術が必要になります。

転倒を予防し、骨折のリスクを低減するためには、視力・遠近感・明るさが重要だと云われています。遠近感では、近く・遠くの判断が年齢と共に低下し、階段を踏み外しやすくなったりします。また、明るさも重要です。階段は比較的暗く影が多い場所なので転びやすい場所になります。この為、電球を明るいものに交換したり、ランプを追加したりするといいでしょう。手すり、階段、廊下等も滑りにくい素材がいいでしょう。

最後に、骨を丈夫にしておくことも大切です。1日当り、カルシウム650～750mg、ビタミンD5.5mg、ビタミンKを150μgとることを目指しましょう。カルシウムは、小魚・乳製品、ビタミンDは、ビタミンKは岩のり、ひき割り納豆、ホウレン草、ニラなどに多く含まれています。バランスの良い食事によって丈夫な骨を保ちましょう。(参考文献:医学博士平松類著 老人の取扱説明書(SBクリエイティブ))



脳の若返り 穴埋めしりとり

穴を開いた部分(AからD)を埋めてしりとりを完成させてください。パズルの正解は、一つだけとは限りません。必ずしも解答とピッタリ合う必要はないので、なじみのある言葉、思いついた言葉でどんどん答えましょう。

例題)

す い か

す す め

答え…からす

な つ

め だ か

B

し 一 さ い ど

C

り ん ご

ご ま

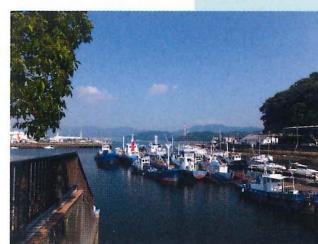
A

B

C

D

*答えは裏表紙(頁下部)⇒



♥信頼される医療・福祉をめざして…

■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

外来案内のご案内 休診日／土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30		荒巻	上杉	池田 沖田	山本
13:00~16:00					中村 上松瀬

●脳神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

広島シーサイド病院

診療科目／内科・脳神経内科・リハビリテーション科・放射線科

療養病床330床（医療208床・介護122床）

〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20

TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826

<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 通所リハビリテーション（定員45名） TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品（定員29名） TEL (082) 255-1221
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422
- グループホーム元宇品（定員18名） TEL (082) 255-1239
- デイサービス元宇品（定員30名） TEL (082) 255-1271

■基本方針

◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。

◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいがもてるようチーム医療を推進します。

◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。

◎病院の質を高め、健全経営に努めます。

◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。

●ごあんない



- バス／広島バス21号線（宇品線）シーサイド病院入口バス停より徒歩5分
- 電車／広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分
- タクシー／広島駅より元宇品方面へ約30分

【編集後記】

今年も暑い暑い夏がやってきました。7月が例年より気温が高くなかった分、梅雨明け宣言から一気に夏が来たという感覚を覚えます。

夏といえば「ビール！」という方も多いと思いますが、現に、外気温が22℃になると消費量に変化が見え始め、最も上がるのが梅雨明け頃。気温が28℃を超えると、1℃上がるだけで1日に900～1000万本も消費量が増えるという話を聞いたことがあります。

広島シーサイド病院では、例年通り親睦会主催の夏の納涼会が7月26日と8月2日に開催され、それぞれ約120人ずつ参加して親睦を深めることができました。今年はグランドプリンスホテル広島が会場でしたが、屋外で暑い中飲むビールも美味しいで

すが、屋内の涼しいところから海を眺めながら飲むビールはとても贅沢で、また格別でした。

さて、今回はビールの話ばかりしたので、最後に注意をしておきますが、飲酒は水分補給にはなりません。特にビールは利尿作用が強く、1リットルのビールを飲むことで、1.1リットルの水を失うと言われています。暑くて喉が渇いたからといってビールばかり飲むのではなく、水分もしっかり摂ってください。

これからまだまだ暑い日が続きますので、健康に気をつけて夏を乗り越えましょう。

(編集N)

